

【子どもたちの笑顔が原動力】

妻のいづみさんと父の健市さん、息子の新羅^{しんら}さん、息子の妻の千穂^{ちほ}さんの5人で水稲とハスカップを栽培しています。

実家が農業を営んでいたことから、高校を卒業後、すぐに就農し、その後は、息子と娘を喜ばせるために果樹栽培を始めたり、地域の子どもたちのためにお祭りを運営するなど、子どもたちの“笑顔”を大事にしてきました。

現在は、日頃の疲れを愛犬に癒やされながら、今年で就農3年目を迎える息子と収量の向上や省力化を目指して、農業に励んでいます。



農業に
懸ける
情熱

「家族みんなで農業を楽しむ」

「初めは子どもたちが喜んでくれたらいいなという気持ちで、趣味程度に果樹栽培を始めました。子どもたちが収穫した果物を、おいしいと喜んで食べている姿を見て、力を入れて栽培してみようと思ったのが、果樹栽培をしたきっかけです。さまざまな果物の栽培を繰り返し、現在は約2畝の農地にハスカップを栽培しています」と話してくれた寿男さん。

寿男さんは個人で取引先企業と提携しており、「個人で企業と提携することで、研修生の受け入れや広告の場所提供など、出荷業務以外にもできることが増えました。幅広い業務内容でハスカップを活用できることにやりがいを感じています」

子どもたちが楽しんでくれるイベントを開催したいと考え、地元有志とともに「上幌豊作祭り」の運営を始めました。「開催当初は地域の人たちが集まって、焼肉大会をするくらいでしたが、今では多くの人の協力もあり、露店が並ぶお祭りになりました。新型コロナの影響もあり、今年は4年ぶりの開催となりました。子どもたちには目標お祭りを楽しんでもらい、夏休みの良い思い出づくりになったかなと思います」と上幌豊作祭りへの想いを話してくれました。

最後に「農業は家族みんなで目指すプロジェクトだと思っています。辛いことや苦しいことを一緒に乗り越えて、いつまでも家族みんなで楽しく農業を続けていきたいです。毎日、だから仕事をするのはなく、やるときはやる、休むときは休んで思いっきりみんなで楽しむをモットーにメリハリのある経営を継続していきたいです」と話してくれました。

岩見沢市栗沢町上幌

かげやまとしお
影山 寿男

さん(46歳)